

取組事例

(所定外労働削減・年休取得促進・多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク)

企業名：マル中産業株式会社	所在地：沖縄県那覇市
社員数：108名	業種：LPガス卸・小売業



取組の目的：

会社の目指す「社員の幸せ」のため、長時間労働の抑制、年次有給休暇の取得の促進、人材の確保に取り組み、ワーク・ライフ・バランスを充実させる

取組の概要：

〈現在の取組〉

○トップメッセージ

「働きがい、やりがいを持ち、会社において成長していることを実感して欲しい。」

○長時間労働の抑制

- ・休日出勤を実施する際は、振替休日を取得させることで、月の総労働時間を抑制している。(休日出勤許可申請の際に振替日を指定)
- ・お客様対応で20時までの当番の日は、11時からの時差出勤(通常は8時半から)を活用して月の総労働時間を抑制している。
- ・夜間業務については、専従者3名による交代制勤務で対応している。

○有給休暇の取得促進

- ・年次有給休暇とは別に memorial 休暇制度(本人・家族・大切な人の誕生日・記念日等)を導入し、年度初めに休む日を決めて、休暇を取得しやすい体制を取っている。

○休業取得の促進

- ・「大切な人材が、長い人生の中の数か月から3年のために離職することは会社の損失」という考えのもと、育児・介護休業及び私傷病休業等を取得すること、休業から復帰することを負担に思わないよう、休業者がいても業務がこなせる体制づくりをしている。

○研修制度

会社での成長を実感してもらうために、

- ・ブラザー制度を導入し、効率よくその人に合った技術指導を行っている。
- ・資格(ライフアドバイザー・ライフスーパーアドバイザー等)の資格取得を推進している。
- ・人事考課制度を見直し、長く働くこと、年次有給休暇を取得しないことがプラスの評価にはならない等、評価する側の管理職の研修を行っている。

〈今後の取組〉

- 所定外労働時間の削減**：定時に仕事を終え、夕方からの、自分の時間、家族との時間の充実を目指す。特に、伝統的に沖縄ではシャワーのみのお風呂が一般的ですが、温浴効果(家族とのコミュニケーション・免疫力向上等)をPRし、浴槽に浸かり1日の疲れを取ることを推進する。
- 振替休日の100%取得を目指す。
- 年次有給休暇の取得日数 H27年目標12日以上／人(昨年 8.2日／人)

現状とこれまでの取組の効果：

- 振替休日の取得率 4年前 63% → 昨年 93%
- 年次有給休暇取得率 3年前 20% → 昨年 25%
- 女性の育児休業からの復帰率：100%
- 傷病による休業からの復帰率：100%
- 採用1年～3年の離職率：昨年 0%

(H27.6)